別記第１号様式（第７条関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　整理番号：

　　年　　月　　日

公立大学法人和歌山県立医科大学理事長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　発明者（本学代表者）

所　属

職氏名

勤務発明届

このたび下記の発明をしたので、公立大学法人和歌山県立医科大学勤務発明規程第７条の規定により、関係書類を添えて届出いたします。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １ 発明の名称 |  |
| ２ 発明の内容 | 別紙のとおり |
| ３ 発明者(全員記載すること) | 所属名または、外部機関名 | 職　名 | 氏　名 | 寄与度(持分) |
|  |  | ふりがな　 | % |
|  |
|  |  | ふりがな　 | % |
|  |
|  |  | ふりがな　 | % |
|  |
|  |  | ふりがな　 | % |
|  |
|  |  | ふりがな　 | % |
|  |
| ４ 外部機関等と共同出願する場合 | 共同出願人(機関)名 |  | 持分案 |  |  | % |
| その理由 |  |
| ５ 職務発明であるかどうかの意見 | □職務発明である　　□職務発明でない（理由：　　　　　　　　　　　　　） |
| ６ 発明の自己評価 | 産業上適用可能な分野 | □医薬・バイオ　□材料・機械　□電気・電子　□ＩＴ□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 革新性 | □大　□中　□小 | 回避・代替困難性 | □大　□中　□小 |
| 先行特許調査 | □済み　□未実施 | 経済的効果 | □大　□中　□小 |
| 予想される製品 |  |
| 発明の実施希望企業等 | □有（企業等名：　　　　　　　　　　　　）　□無 |
| 実施予定時期 | □５年以内　□５～１０年　□１０年以上 |
| 実用化への課題 | □大　□中　□小（主な課題：　　　　　　　　　　） |
| 関連出願 | □有（出願番号：　　　　　　　　　）　□無 |
| ７ 外国出願希望の有無 | □ 有　□ 無* 有りの場合、必要な国及びその理由

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ８ 出願の緊急性の有無 | □ 有　□ 無* 有りの場合その理由

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ９ 本発明の発表（予定）の有無 | □ 済　□ 予定有　□ 無※ 済・予定有の場合発表(予定)日：　　年　　月　　日発表方法　　□ 学術団体等による学会等での発表　　 　学術団体等名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　□ 論文投稿等による発表　　 　刊行物等名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 10 本発明に使用した研究経費 | * 講座研究費 　□ 受託・共同研究経費 　□ 寄附金
* 補助金等（名称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
* そ の 他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
 |
| 当該経費による特許出願等に係る制限等の有無□ 有（※有りの場合内容が分かる書類を添付すること）　□ 無 |
| 11本発明に使用した他機関の機密情報、設備機器、試料等 | 機密情報等の名称：保有機関名：（本件に関連する契約書等が存在する場合はその写しを添付すること） |
| 12本発明に関する本学担当者 | 所属名　　　　　　　　職・氏名内線　　　　　FAX　 e-mail：  |
| 13その他特記事項 |  |
| 14添付関係書類 | (1) 本発明に関連する書類□ 有□ 本発明の発表がある場合、発表内容（論文または講演要旨等のコピー）□ 把握している関連先行技術（本人及び他者の発表）□ 本発明の関連発明に係る特許出願がある場合、内容のわかるもの□ その他（　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□ 無(2) その他理事長が必要と認める書類 |

別 　紙

|  |
| --- |
| 発明の内容 |
| １発明の概要２従来技術について（従来技術の概念、研究の背景、技術レベル、従来の課題等を発表者自身の発表も含め、文献等を明記して本発明の内容に近いものを記入）３発明の原理及び特徴（本発明の動作原理やメカニズム及び構成、新しい点、革新的な点を具体的に記入）４発明の効果（発明の進捗性や従来技術より優れている点を、本発明によって得られる技術的効果・経済的効果の観点から記入）５発明の具体例（本発明の根拠となる試験例、実験例などについて記入）６発明の活用計画（本発明を適用できると考えられる具体的な実施例について記入）７図面（本発明の構造や動作を表す図面、装置図、フロー図等）８本学発明者の発明への寄与

|  |  |
| --- | --- |
| 発明者(本学) | 発明のうち具体的に貢献した内容 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

９先行特許調査結果1. 特許調査
2. 学術論文（講演要旨も含む）
 |

注）考案の場合には、「発明」とあるのを「考案」と、「特許」とあるのを「実用新案」と読み替え、意匠の創作の場合には、「発明」及び「特許」とあるのを「意匠」と読み替え、品種の育成の場合には、「発明」及び「特許」とあるのを「植物品種」と読み替え、ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの著作物の創作の場合には、「発明」及び「特許」とあるのを「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの著作物」と読み替え、ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの著作物の創作の場合には、「発明」及び「特許」とあるのを「ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの著作物」と読み替え、半導体集積回路の回路配置の創作の場合には、「発明」及び「特許」とあるのを「半導体集積回路の回路配置」と読み替え、ノウハウの創作の場合には、「発明」及び「特許」とあるのを「ノウハウ」と読み替えて作成すること。